

令和5年度

肢体不自由教育部門

高等部

第2学年

②学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	国語・数学（知）			学習グループ	②	
ねらい	(1) 見たり聞いたり触ったりする活動を通して、興味・関心の幅を広げる。 (2) 繰り返しの活動により、内容に対して短い見通しをもつ。 (3) 提示された教材に意識を向けたりしながら、そのときの感情を表現する。					
担当教員	郭雅文・高橋尚子			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 歌唱、手拍子等の活動により身体全体を使った表現につなげる。 (2) 諸感覚から感じ取れる教材で物語の世界観を出す。 (3) 装飾や衣装を着用し雰囲気から感じ取れるよう支援する。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	オリエンテーション 「あるひはるがきました」	6	◆ 物語の世界を体験し、感じたり表現したりする。 ◇ 絵本や具体物を用いて体験を通じて数を知る。		○	
6 7	「ざぼんじいさんのかきのき」	6	◆ 見たり聞いたり触ったりしながら季節（夏）を感じる。 ◇ 提示された絵カードを選択する。		○	
9 10	秋を感じよう 「ざぼんじいさんのかきのき」	8	◆ 物語りの世界観を感じ、感じた気持ちを自分なりに表現する。 ◆ 様々な形を感じる。 ◇ 「秋」に関する本の読み聞かせ。 ◇ 葉・枝を探す。		○	○
11 12	冬を感じよう 「かさじそう」	6	◆ 物語りの世界観を感じ、感じた気持ちを自分なりに表現する。 ◇ 「冬」に関する本の読み聞かせ。 ◇ 「冷たい」を体験する。		○	○
1	百人一首	3	◆ 百人一首を通じ、言葉の情景を体験する。 ◇ 百人一首を体験する。	○		
2 3	春をかんじよう 「さくら」	6	◆ 見たり聞いたり触ったりしながら季節（春）を感じる。 ◇ 物語の読み聞かせ。 ◇ 桜の花を一人一人装飾し、桜の木を完成させる。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	音楽（知）			学習グループ	②	
ねらい	(1) 音楽を楽しみ、発声や表情等で自由に表現する。 (2) 様々な楽器や奏法に触れ、音を鳴らすことを十分に味わう。 (3) 様々な音や音楽を聴いて、音楽活動に親しむ。					
担当教員	高橋尚子 郭 雅文			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) それぞれが自分のタイミングで音を鳴らせるように伴奏する。 (2) イメージしやすいような視聴覚教材を用いる。 (3) 幅広いジャンルの音楽を扱う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	「はじまりのうた」「リトミック」	1	◆ 授業の始まりを認識する。 ◇ 呼名に応じて返事をする。 ◆ 音楽の曲調を感じる。 ◇ 手拍子や身体全体で表現する。			○
4 5	「リトミック」	5	◆ 音楽のテンポやリズムの変化を楽しむ。 ◆ 歌遊びなどを通してコミュニケーションの力を培う。 ◇ 歌を聴いたり歌ったりする。 ◇ 音楽に合わせて動きを楽しむ。			○
6 7	「世界の音楽」	6	◆ 世界の音楽について知る。 ◆ 特徴的なリズムや曲想を感じる。 ◇ 世界の音楽を鑑賞する。 ◇ 音楽に合わせて踊る。 ◇ 音楽に合わせて楽器を鳴らす。	○		○
9 10	「日本の伝統音楽」	7	◆ 日本の伝統的な音楽を知る。 ◆ 和楽器の音の響きを感じる。 ◇ 和太鼓やお箏に触れて鳴らす。 ◇ 和太鼓や箏の演奏を鑑賞する。		○	○
11 12	「季節を感じよう」	6	◆ 情景をイメージする。 ◆ 波や風の音を表現する。 ◇ 冬の海などの映像を鑑賞する。 ◇ 歌を聴いたり歌ったりする。 ◇ オーシャンドラムなどを鳴らす。	○	○	○
1 2	芸術鑑賞会に向けて	6	◆ 楽器や楽曲、音楽の背景となる文化などについて理解を深める。 ◇ 楽器の演奏を体験する。 ◇ 視聴覚教材を鑑賞する。	○		○
3	「卒業ソングを歌おう」	5	◆ 卒業式への意識を向け、雰囲気を感じながら歌う。 ◇ 歌を聴いたり歌ったりする。 ◇ 歌に合わせて楽器を鳴らす。 ◇ 曲を感じ取り表現する。	○	○	○
※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度						

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第2年	
教科等名	美術(知)			学習グループ	②	
ねらい	(1) 様々な素材に触れ、素材の変化を感じながら自分らしい作品を作る。 (2) 表現方法に応じて道具を選び、使う。 (3) 様々な表現方法や素材に触れ、作ることを楽しんで活動する。					
担当教員	八田早苗 高橋尚子 郭雅文			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	「なし」					
主な指導の工夫	(1) 手の操作性に合わせた道具を用意する。 (2) 様々な色や感触に触れられるように課題を設定する。 (3) 鑑賞や振り返りの時間を十分に設け、活動を評価する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	モダンアート：にじみ 絵、吹き流し、ストリング (引き絵)。	12	◆ 様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を感じとる。 ◇ 色の3原色を水や風の動きで混色する。			
6 7	モダンアート：ストリング、 スタンプ画。 陶芸：皿、音の出るオブ ジェ制作。	16	◆ 様々な技法で混色を学ぶ。 ◇ 紐を引く、スタンプを押すなど、手を積極的に動かして制作する。 ◇ 触れて変化する素材の面白さを体験する。			
9 10	陶芸：釉薬をかける 折り染め：和紙を染める 工芸：切って・重ねて・ 貼って	16	◆ 土の変化を感じ取る。 和紙に浸透する染料の様子や広げたと きの美しさに注目する。 積極的に手を動かして制作を楽しむ ◇ 紐を引く、スタンプを押すなど、手を積極的に動かして制作する。 ◇ 介助を受け入れ、様々な素材や道具を使用して作品を仕上げる。			
11 12	版画：回転版画 工芸：達磨づくり	10	◆ 素材に触れたり、様々な道具を使ったりして作品を制作する。 ◇ スチレンボードで制作した版を回転させて版画を行う。 ◇ 新聞紙と和紙で張子の達磨を制作する。			
1 2 3	墨象：墨絵を描く 工芸：つるし雛 染色：卒業展示用作品	16	◆ 季節の行事を感じながら制作する。 ◇ 墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。 ◇ 仲間と協力し合い、完成を意識して自分の担当する部分を制作する。			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	保健体育（知）			学習グループ	②	
ねらい	(1) 様々な身体活動を通じて、自分の身体意識を高める。 (2) 身体を動かすことの心地よさを感じ、運動する楽しさを表現する。 (3) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動できる。					
担当教員	上原千穂・郭雅文・高橋尚子			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 生徒の身体の緊張具合や可動範囲などの確認しながら動かす。 (2) 音楽のリズムやテンポに合わせて身体を動かす。 (2) 見本や繰り返しにより、活動内容が分かるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	体づくり運動	—	◆ 授業の見直しをもつ。 ◇ パワーポイントや動画、ICT機器による授業内容を確認する。 ◆ 身体を動かす心地よさを感じる。 ◇ 準備体操、リトミック活動。	○		
4	課題走	3	◆ 設定されたそれぞれの課題に主体的に ◇ 課題を設定する。			○
5 6	得点ゲーム	6	◆ ゲームに友達と協力して取り組む。 ◇ ペアゲームをする。 ◇ 集団ゲームをする。	○		
7 8	水泳	6	◆ 水の浮力でリラクゼーション図る。 ◆ 身体をの状態にあった活動 ◆ 身体の状態に合わせた水中運動 ◇ 水慣れ、背浮など ◇ 浮力を使って関節や筋肉を動かす。	○		○
9 10	球技 「ポッチャ」	6	◆ 腕や手などを動かして、自分なりの方法で主体的に運動することができる。 ◇ ボールを投げる、またはランプや補助具などを使用して転がす。 ◇ 的を意識したり、ゲームをしたりする。		○	○
11 12	テーブル	7	◆ ボールや道具を操作する楽しさを知る。 ◇ 得意な打ち方を見つける。			○
1 2 3	ハンドサッカー	7	◆ それぞれの方法でゴールにシュートすることができる。 ◇ ポイントゲッター（シュート）ゲームをする。 ◇ 自分に合ったシュート方法でシュートする。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	総合的な探究の時間			学習グループ	②	
ねらい	(1) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。 (2) 各行事の事前学習を通して、日常と異なる場面や場所でもっている力を発揮する。 (3) 季節行事や伝統行事を体験し、日本固有の文化に触れ、興味・関心を広げる。					
担当教員	郭雅文、高橋尚子、白崎健太郎			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 一人一人の実態に応じて、補助具を工夫する。 (2) 活動への見通しがもてるよう、同じ学習内容を繰り返して行う。 (3) 活動に取り組みやすい姿勢や注目しやすい位置、提示物の大きさに配慮する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	オリエンテーション 新しい先生を知ろう	6	◆ 1年間の授業の見通しをもつ。 ◇ 他学年の仲間を訪問し意識する。			○
6	学期の行事の確認	4	◆ 学期の学習内容について知り、学校生活に見通しをもつ。 ◇ 昨年度の写真やスライドを見たり、活動の追体験をしたりする。	○		
7	学期のまとめ	2	◆ 各活動の写真や動画を見る。 ◇ 静かに写真やスライドの鑑賞ができる。	○		
9 10 11 12	学期の行事確認 修学旅行に向けて 墨東祭に向けて	3 9	◆ 学期の行事に見通しをもつ。 ◇ パワーポイントなどでの確認。 ◇ 各活動の写真や動画を見る。 ◆ 見通しをもって行事に参加する。 ◇ 発表内容についての話し合い・練習・振り返り、来年はどういう事をしたいかなど考える。	○ ○	○	
1 2 3	季節の活動 1年間のまとめ	4 7	◆ 日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。 ◇ 墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆ 各活動の写真や動画を見る。 ◇ 静かに写真やスライドの鑑賞ができる。			○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	特別活動（ホームルーム）			学習グループ	②	
ねらい	(1) 学年で行う行事等に見通しをもつ。 (2) 友達を知り、自分を伝えることで人間関係の充実を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
担当教員	郭雅文、高橋尚子、白崎健太郎			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料などを使って分かりやすく提示する。 (2) 全員が意欲的に参加できるよう配慮する (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	学年活動の予定を知る	2	◆ 学校生活に見通しをもつ。			
5	年間行事予定表を作る	3	◆ 期待感を高め、友達を応援できるようになる。 ◇ 行事予定表を作る ◇ 時間割や年間の行事を知る。	○		○
6	仲間楽しく活動しよう	5	◆ 日常生活の余暇活動の充実を図る。 ◇ 学年共通でできる様々なレクリエーションを行い、興味・関心を広げる。			○
7 9	宿泊行事に向けて	5	◆ 生活や活動について見通しをもつ。 ◇ 調べ学習 ◇ 当日の行動予定を立てる。	○	○	
9 10 11	墨東祭に向けて	8	◆ 役割をもって、仲間と協力することができる。 ◇ 発表内容についての話し合い ◇ 役割分担		○	○
12 1	伝統と文化に触れよう	6	◆ 日本独自の伝統技術を体験することで、日本の伝統に興味をもつ。 ◇ 調べ学習 ◇ しおりの印刷、製本する。 ◇ 当日の行動予定を立てる。	○	○	○
2 3	高3に向けてと進路について	6	◆ 卒業後の進路について見通しをもつ。 ◇ 卒業・社会人生活への意識付けを行う卒業生を送る会の企画。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第2年												
教科等名	日常生活の指導(知)			学習グループ	②												
ねらい	(1) 個々の課題に応じて身辺処理(歯磨き、準備、片付け、排せつなど)をできるようになる。 (2) 様々な姿勢、動きをとり、苦手な動きを補う力を身に付けたり、変形や拘縮を予防したりする。 (3) 慣れた大人を介して要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力につなげる。																
担当教員		年間授業時数	175	時間													
使用教科書	なし																
主な指導の工夫	(1) 個々の生徒の実態把握を行い、自立活動の項目に沿って指導のねらいを設定する。 (2) 自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 (3) その日の健康状態、気持ち、身体の状態に合わせて、適宜指導内容を設定する。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技家	外		
通年	日常生活の学習	175	◆ 介助を受け入れ安全に食事・水分を摂る。 ◇ 摂食・水分摂取 ◆ 口腔ケアの介助を受け止める。 ◇ 歯磨き ◆ 介助への協力動作の力を培う。 ◇ 排せつ ◆ 食具などの準備、片付けの意識をもつ。 ◇ 巾着やビニールからの準備、片付けを行う。														

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第2年												
教科等名	生活単元学習		学習グループ	②													
ねらい	(1) 季節の行事や食べ物、素材に触れる活動を通して文化や生活への興味関心を広げる。 (2) 挨拶や気持ち、要求などを、表情や発声、身体の動き等、自分なりの方法で表現する。 (3) 身近な友達や教職員との活動の楽しさを味わい、喜びを共感する。																
担当教員	高橋尚子 郭雅文		年間授業時数	70	時間												
使用教科書	なし																
主な指導の工夫	(1) 各単元は授業の流れを統一し、生徒自身で見通しがもてるようにする。 (2) 教材に気付きやすいように手元に提示するなどの工夫をする。 (3) 時間に余裕をもち、生徒の表現を待ってできたときは言葉掛けをする。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業	家庭	外	
4 5 6 7	①季節を感じよう「春・夏」 ②友達と一緒に、身近なゲームを楽しもう ③野菜を植えよう	24	◆制作を通して季節を感じる。 ◆自分の順番を意識し、友達と一緒にゲームを楽しむ。 ◇ポーリングをする。すぐろくゲームをする。 ◆土の感触に触れ、手先の感触や感覚の向上につなげる。 ◇野菜の苗や種を植える。														
9 10 11 12	①季節を感じよう「秋」 ②英語に触れよう ③染物に挑戦 ④野菜を収穫しよう	24	◆栽培・制作を通して季節を感じる。 ◇植物を観察したり、採集したりして作品を作る。 ◇友達と一緒に共同作品を作り上げる。 ◆英語の響きや外国の文化に触れる。 ◇物の名前や数字を英語で知る。 ◇英語で歌やゲームを楽しむ。 真っ白い布が染まっていく様子を見て、その変化に気付く。また布や染め液の感触に触れる。 ◇お茶・玉ねぎで染める。		○				◎		○						
1 2 3	①季節を感じよう「冬」 ②日本の文化について ③買い物学習	22	◆制作を通して季節を感じる。 ◇友達と一緒に共同作品を作り上げる。 ◆日本の行事や文化を知る。 ◇正月や節分、ひな祭りなどを知る。 買い物学習を行い、店に行く、物を選ぶ、物を買う、お金のやり取りなどを体験し、経験の幅を広げ、卒後の余暇活動につなげる。 ◇ライブや島忠に買い物に行く。			○						◎					

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度